

この号の内容

特集：平成27年度 WELCOME研修医の会

- ① 挨拶
- ② 先輩からのメッセージ
- ③ ガイダンス「医師の職業倫理」
- ④ 研修医の皆さんからのメッセージ
ipadのある研修生活
iPad miniを活用する川崎医大附属病院での研修生活



岡山県医師会

URL

<http://www.okayama.med.or.jp/index.html>

E-mail

oma@po.okayama.med.or.jp

特集：平成27年度 WELCOME研修医の会

次第

【社会保険医療担当者集団指導】
コーヒーブレイク

【第一部】

挨拶

岡山県医師会

会長 石川 紘

岡山県保健福祉部

部長 伯野春彦 先生

岡山大学病院

院長 横野博史 先生

川崎医科大学附属病院

院長 園尾博司 先生

特別講演

「総合的な臨床能力を身につけるためには」

大阪医科大学 地域総合医療科学

教授 鈴木富雄 先生

ガイダンス「医師の職業倫理」

岡山県医師会

副会長 清水信義

【第二部】

レセプション

岡山県医師会 会長 石川 紘

医師として2年間の初期研修を終了され、本日、保険医として認定されました。誠におめでとうございます。今後、3年間の後期研修が始まりますが、先生方にはバラ色の将来が無限に広がっており、臨床医学に没頭できるPeriodを迎えることとなります。貪欲に知識・技術を吸収してその上でゆとりを持って人生を謳歌してください。学問・診療一辺倒では息切れがします。趣味を養う時期でもありますし又、志を同じくする生涯の友人を得る時期でもあります。しかし、この時期、くれぐれもいわゆるオタクに走ることは避けて下さい。寧ろ「その男、意識高い系」の方がよいでしょう。

他方、今後、患者との1対1での診療に、研究（リサーチ）に、対人関係に於いても種々困窮する事態に遭遇することは避けられません。米国の医師であり心理学者でもあるランドルフ・ネッセが提唱している「苦勞の免疫理論」は社会に出て困難な状況とそれに耐えて行く力を免疫に例えています。苦勞は心を強くするワクチンであるとしています。このことを肝に銘じ苦勞もどんどん吸収して、心身共に剛健な医師となって地域医療に貢献されることを期待し、饒の言葉と致します。

先輩からのメッセージ

総合病院 岡山協立病院 下川 郡明 先生

初めまして、岡山協立病院の内科後期研修医の下川と申します。初期研修の2年間で岡山労災病院でさせて頂き、現在3年目は岡山協立病院で勤務しております。

岡山協立病院に赴任してまだ3カ月も経ちませんが、初期研修時代と現在のことをお伝えします。

初期研修が始まって間もない2週目から、いきなり救急外来の診察をすることになりました。学生の時と同様に定型の間診はある程度はできましたが、診断につながるような問診ができず、検査も何をやってよいのかわかりませんでした。先輩の医師に質問する

か自分で勉強しなければならない状況でした。外来で診察した症例を復習して、また同様の症状で来たらきちんと対応できるように問診、検査、鑑別診断、治療をどうすればよいかを勉強しました。

救急車の対応についても初めは怖くて何をすればよいかわかりませんでした。経験を経ることで少しは対応できるようになったかと思えます。

初期研修では、救急外来と病棟の患者さんを診ることと、処置や手技を経験して習得するのに精一杯でしたが、3年目の現在では少し余裕ができてきました。現在は環境を変えて岡山協立病院に勤めています。患者さんの家族に病状説明を行ったり後輩に教育を行ったりしています。当直も一人で対応することになって、いかに上級医の先生に守られていたか実感しています。

初期研修は医師としての人生の土台を築く貴重な期間なので、1日1日を大切に充実した研修生活を送れるように頑張ってください。

ガイダンス「医師の職業倫理」

岡山県医師会副会長 清水信義



研修医の皆様、岡山での研修開始おめでとうございます。6年間の医学教育で身に付けたことをいよいよこれから実践してゆくことになります。ただ、大学で勉強したことは医学・医療のごく基礎的な知識であり、これからどのように研鑽してゆくかで、皆さんの医師としての技倆が出来てきます。幸い岡山は医学・医療のレベルが大変高い所です。200万人足らずの人口に対して医科大学が2つあり、基幹病院も多く高いレベルの臨床研究や医療を実践している県の1つです。そのような地域で研鑽されるみなさんは大変恵まれているといえます。

医学は日進月歩で進み、各分野は益々細分化し、次第に他の分野のことはなかなか良く分からなくなっています。その様な中で総合的な知識をどのように身につけていくかということが研修医の皆さんにとっては大変重要となってきます。専門的な知識を習得しながら、他の領域のことにも関心を持ちましょう。少なくとも、総合的な判断力は身に付けましょう。

ご承知のように最近医療の中で大きな問題が起こっています。医学研究分野ではSTAP細胞事件、臨床では関東の大きな大学病院での手術過誤の事件などがあります。このようなことが起こることとも現在の医療の社会の現実でもあります。この2つの事件がよほど特別な事件というわけではなく、場合によってはいまでも同様のことが起こりうる可能性があるかと思えます。そのような中でこれから長い間医療に携わっていきみなさんが心構えとして持つておかなければならないことが「医師の職業倫理」です。どの職業にも倫理規定がありますが、「医師の職業倫理」はとりわけ大切です。これはみなさんが折りに触れ身に付けて学んでいくべきものであるかと思えます。みなさんに1冊ずつお渡しした「医の倫理」の本は日本医師会が出しているものです。今日を限りになくするのではなく、本棚の隅に置いておいて何かの折りに取り出して、困った時にどう判断すれば良いのか参考にして下さい。今日は、この冊子について、ページに沿って逐次解説していきます。

日本医師会「医の倫理綱領」

医学および医療は、病める人の治療はもとより、人びとの健康の維持もしくは増進を図るもので、医師は責任の重大性を認識し、人類愛を基にすべての人に奉仕するものである。

1. 医師は生涯学習の精神を保ち、つねに医学の知識と技術の習得に努めるとともに、その進歩・発展に尽くす。
2. 医師はこの職業の尊厳と責任を自覚し、教養を深め、人格を高めるように心掛ける。
3. 医師は医療を受ける人びとの人格を尊重し、やさしい心で接するとともに、医療内容についてよく説明し、信頼を得るように努める。
4. 医師は互いに尊敬し、医療関係者と協力して医療に尽くす。
5. 医師は医療の公共性を重んじ、医療を通じて社会の発展に尽くすとともに、法規範の遵守および法秩序の形成に努める。
6. 医師は医業にあたって営利を目的としない。

この「医の倫理綱領」には当然のことが書かれていますが、簡単にご説明します。「医師は生涯学習の精神を保ち」とありますが、医師は常に学習する姿勢を持たなければなりません。医学は日進月歩で進んでおり、学習をやめるとそこで知識が止まってしまう新たな知識を修めるのにまた時間がかかってしまうので、続けて学習することが大切です。このことはどの年配の先生方も感じることで。

次に、「医師はこの職業の尊厳と責任を自覚し」とありますが、医師は色々な方々と接します。子供、老人、豊かな人やそうでない人とお互いを理解し、適応するための教養や能力を身につけましょうということです。医学の専門分野だけであれば良いということではなく、社会的な高い教養を身につけましょう。昔のドクターには地元の名士の方がたくさんいらっしゃいました。それは高い教養を身につけた方が医師となっていたからです。そのような気持ちを持ってください。

医師は「医療を受ける人びとの人格を尊重し」とありますが、これも当然です。患者さんの人格を尊重できなければ医師としての仕事はできません。しっかり患者さんと話をして信頼関係をつくるのが大切です。そし

て、医師同士も、同じ職業ですがお互いを尊敬しあうことで信頼関係を作っていくことも大切です。

次に「医師は医療の公共性を重んじ、医療を通じて社会の発展に尽くすとともに、法規範の遵守および法秩序の形成に努める」とあります。医師は、社会の法律は当然ですがもう1つの法律、「医師法」にも縛られておりまので、この2つの法律を遵守しなければなりません。また、医師は営利目的で医業をすることはできません。分相応には生活できますが、世界中の富を独り占めするようなことは医師にはできないのです。

医師の基本的責務としては、まず「医学知識・技術の習得と生涯教育」。医師は日進月歩で進む医療技術を生涯にわたり習得する義務があり、広い視野で情報収集を行い、その学習成果を日々の診療の実践において発揮すべきということです。次に「研究心、研究への関与」。これは、臨床の場でも研究の場でも常に研究の心を持っていきましょうということです。医学研究者だけではなく、臨床家も何らかの研究テーマを持ち続けることが出来れば、医師としてのバックボーンとなります。3番目は「品性の陶冶と品位の保持」。これは、社会の中で医学知識のみでなく、ちゃんと人間としてのマナーを持って生きていきましょうということです。医師自身の基本的な責務にはこれら3つがあります。医師の犯罪や不祥事は、一般の人たちより厳しい非難を受けます。

患者さんに対する責務としては、まず「病名・病状についての本人への説明」があります。現在は病名・病状にかかわらずほとんどありのままを、わかりやすく患者さんに全てを説明しています。一般の人に判るように専門用語を解説しながら説明します。

次に「患者の同意」。医師が診療を行う場合には必ず患者の同意、すなわち「インフォームド・コンセント」を得ることが大切です。たくさんの項目を並べてサインをもらうだけでは駄目で、その患者さんに合った固有のことがなければ「インフォームド・コンセント」とはいえません。

授業で習ったと思いますが、信仰上の理由から輸血を拒否する患者さんがいることがありますが、それも患者さんの権利です。生命を賭しているような場合でも、同意がなければ輸血は出来ません。

次に「診療録の記載」。医療法ではカルテの記載では必ず記載しなければならない必要な事項が決まっています。電子カルテになるとついコピーになっってしまうかもしれませんが、それぞれの患者さん特有の症状は必ず落とすことなく記載しましょう。そして「守秘義務」。個人の病状等個人情報等を電話の問い合わせ等で簡単に答えることのないようにしましょう。「応招義務」、患者さんが診察してくださいという時は、社会的に正当な理由が無くこれを拒否してはいけません。続いて「緊急事態における自発的診療」。もし公共の場で緊急事態に遭遇した場合は自分のできる範囲で義務を果たさなければなりません。良きサマリア人の考え方があります。

「無診察治療の禁止」、診療をせずに治療をしたり薬を出したりしてはいけません。そして、基本的に診察する場所は国の厚生局が決めた場所です。診察してはいけません。例えば、ホテルの部屋で診察することはできません。

社会に対する責務としては、「異状死体の届出」(医師法21条)があります。医師は死体に異状があると認めた時は24時間以内に所轄の警察署に届けなければなりません。「医療機関内での医療事故の報告と原因究明」については、今年の10月から法律が施行されますが、医療機関内で予期しない原因で亡くなられた場合には全例報告しなければなりません。例えば、がんの末期で亡くなったというのではなく、元気に歩いていた方が夜中に突然亡くなったというような通常予期せぬ事態で亡くなった時は必ず報告しなければなりません。覚えておいてください。

最後に安楽死についてですが、基本的に我が国では認められていませんが、家族や本人が希望する場合に医療を控える場合はあります。しかし、必ず複数の医師で議論して決めなければならず一人の医師が単独で判断することはできません。

これらの医療倫理も日進月歩で変化します。時代にそぐわなくなってきたら改訂されますが、こういうものがあるということを知っておいてください。手許に無い場合は日本医師会のホームページにも掲載されていますので参考にしてください。

是非岡山での研修を爽りあるものにしてください。医療にも、若い世代の力は是非必要です。素晴らしい医師に育ってください。

研修医の皆さんからのメッセージ

iPad のある研修生活

川崎医科大学附属病院 研修医 溝口明子 先生

川崎医科大学附属病院研修医 1 年目、溝口明子と申します。

この度は、私たち研修 1 年目医師のために WELCOME 研修医の会を設けて頂き、ありがとうございました。同じ岡山の地で、これから医師としての一歩を歩み始めた同期たちと顔を合わせることができ、とても刺激を受けました。どの研修医の顔を見てもやる気に満ちており、これから始める医師としての生活に胸を躍らせているように感じました。私もここに集った同期たちと共に頑張ろうと心から思いました。

さて、そんな中、iPad の当たるじゃんけん大会が始まりました。昨年も私の勤務する川崎医科大学附属病院の先輩方が iPad を頂いていたので、今年も誰かが当たればいいなと思っていましたが、まさか自分が勝ち残るとは夢にも思っていませんでした。現在、じゃんけん大会で頂いた iPad は、私の白衣のポケットに入っており、病棟で困っている私を助けてくれております。iPad の中には、いくつかの医療系のアプリを入れており、薬剤の添付文書検索や各種ガイドラインの検索に役立っています。

医療の現場に出させて頂き、早 2 カ月が経過しましたが、新たな発見ばかりであり、毎日が勉強だと実感しております。日々医師として楽しみながら研修させて頂いておりますが、自分の知識が足りないと感じることも多々あります。また、まだ何をすることも時間がかかり、時間が足りないと毎日痛感しております。そのため、頂いた iPad を有効活用させて頂き、少しでも自分のやりたいこと、学びたいことに割く時間を増やしたいと思っています。今後は電子書籍を購入し、iPad に取り込み日々の研修に役立てていきたいと考えています。

最後になりましたが、WELCOME 研修医の会を設けて下さった岡山県医師会、NPO 法人岡山医師研修支援機構の方々、素敵なプレゼントをありがとうございました。



iPad mini を活用する 川崎医大附属病院での研修生活

川崎医科大学附属病院 研修医 岡根亮弘 先生

こんにちは。川崎医科大学附属病院研修医 1 年の岡根亮弘と申します。はじめに、WELCOME 研修医の会を開いてくださった、岡山県医師会、NPO 法人岡山医師研修支援機構の関係者の皆様に御礼申し上げます。懇親会では岡山県内の他施設の研修医の人との交流もでき、とてもいい刺激になりました。

さて本題の iPad についてですが、私は自分で言うのもなんですが、極度の Apple 信者で、家のパソコンはもちろん Mac、携帯も iPhone を使用しており、iPad も以前のモデルは所持していました。今回 iPad mini を頂きましたが、iPad mini は、白衣のポケットにも入り、臨床の現場でもとても有意義に使わせていただいております。もともと、iPad を持っていたこともあり、電子化した書籍もたくさんあったので、それを入れて使っております。臨床の現場ではどうしても患者さんの治療法などをその場で調べたいことはありますし、そんなときにいちいち大きな本を持ち歩くことは現実的には不可能で、だからといって iPad では大きすぎて持ち歩きに不便ですし、iPhone は一時期使用していましたが画面が小さくて読みづらく、iPad mini が最適なデバイスだと思っています。

川崎医大附属病院での研修ですが、川崎医大では 5 年の実習でも手技などをたくさんやらせていただくことができますが、やはり研修医になって実習と最も違うと思うことは、自分で治療を考えてそれを実行できることだと思います。特に麻酔集中治療科では、刻一刻と変わる患者さんのバイタルに関して、もちろん指導医の先生はそばにいてくれますが、自分で判断して治療薬や輸液の量を調節することができ、それに対する反応を見るのがとても楽しく感じています。

最後になりますが、今後も実りある研修になるよう努力して参りますので、ご指導のほどよろしくお願いたします。

第18回 Doctor's Career Café in OKAYAMA

「D+Muscat」

平成27年5月9日 ㊦ 無事終了いたしました。

■ Session 1

「乾癬治療のあれこれ」

鹿児島大学医学部・歯学部附属病院
皮膚科 講師 東 裕子 先生

■ Session 2

D+Muscat Discussion

「乾癬にひそむ関節症について」

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
皮膚科学分野 助教 眞部 恵子 先生

第19回 Doctor's Career Café in OKAYAMA

メディカルカフェ in かわさき

「女性医師を応援します！」パート3

平成27年6月4日 ㊦ 無事終了いたしました。

1) 話題提供 (30分)

作田 建夫先生 (川崎医大講師)
羽間夕紀子先生 (川崎医大大学院生)

2) 自由懇談 (50分・・・4-5人掛けのテーブルごとに)

託児支援のご案内

岡山県内の医療機関に勤務する医師及び岡山県内に居住しておりかつ医療活動に対し意欲のある医師が、学会・研修会・大学院授業に出席するため託児が必要な場合は、県医師会がサポートいたします！

(事前登録が必要です。お気軽にご連絡ください。)

- 場 所…ポストメイト保育園イオンモール岡山
- 補助金額…1時間につき500円
- お問い合わせ先…岡山県医師会

TEL : 086-272-3225

E-mail : omajoi@icloud.com

編集後記

冷夏が一転して、暑くなってきました。台風が多く発生して、心配な夏になりそうです。自然災害が少ないといわれる岡山県、今年も大丈夫でしょうか？研修を始められた先生方はそろそろ仕事に慣れて来られたことでしょうか。医学生の方々は夏休みが楽しみな頃でしょうか？

Good Doctor vol.13は4月に開催しました「WELCOME研修医の会」の特集号です。「WELCOME研修医の会」も3回目になり、すっかり定着してきました。「Doctor G」としてご高名な大阪医科大学地域総合医療科学 教授の鈴木富雄先生に「総合的な臨床能力を身につけるためには」と題してご講演いただきました。本号ではガイダンスの「医師の職業倫理」の解説を清水副会長にまとめて

岡山県医師会勤務医部会・女医部会合同総会

考えよう
男性も女性も輝きながら働ける
ワークライフバランスとは？

●日時：平成27年8月1日 ㊦ 14:00～17:00

●場所：岡山衛生会館 5階 中ホール

●プログラム：

■ 病院におけるワークライフバランスと女性医師支援報告

「川崎医科大学におけるメディカルカフェの実績」

川崎医科大学ワークライフバランス・ワーキンググループ/
同窓会会長 / 病理学2 教授 森谷 卓也 先生

■ 特別講演

「共同体としての男女共同参画へ」

虎の門病院小児科 (非常勤)、東海大学医学部客員講師
日本医師会男女共同参画委員会委員 自見 英子 先生

岡山県医師会による

マタニティ白衣レンタルサービス事業のご案内

なでしこプロジェクトのマタニティ白衣は岡山県医師会女性医師支援事業でレンタルできます。ご希望の方は岡山県医師会までご連絡ください。

(TEL: 086-272-3225)

le coq sportif MATERNITY DOCTOR COAT

キャリア支援

Dr.なでしこプロジェクト

妊娠中の医療者の方のための

ドクターコート

医療分野の中で生き生き活躍する女性をイメージして、フランスのスポートブランド「ルコックスポルティフ メディカルウェア」では、妊娠初期から臨月まで対応できるマタニティ白衣を岡山県医師会にご協力いただきながら開発しました。日本中に花咲くまでしこドクターのご活躍を応援いたします。



いただきました。また、大じゃんけん大会では今年も川崎医科大学附属病院の研修医の2人がiPad miniを獲得されました。2人の研修医の皆さんには研修生活を紹介していただきました。6年生の皆さん、来年は是非iPad miniを獲得して研修生活にお役立て下さい。

川崎医科大学でのDoctor's Career Café in OKAYAMA メディカルカフェ in かわさき「女性医師を応援します！」は順調に開催を重ねています。今後も秋、冬と開催予定ですので、是非ご参加下さい。

マタニティ白衣レンタルサービス事業の準備が整いました。軽くて着やすいドクターコートのマタニティ用です。仕事ではお腹が目立たず、でも締めつけがないという利用者の要望をクリアするべく、デザインをお願いしました。利用を希望される方は岡山県医師会までご連絡下さい。(神崎)